



Baika Library Times

図書館の思い出

図書館情報センタ - 長 漢那憲治

目次:

図書館の思い出

1

メインカウンターからのお知らせ

・図書館利用者証 (Library Card) が変わります

2

・キャンパス・コミュニティ・システム (CCS)

3

2004年度前期図書館展示と講演会のお知らせ

4

学園資料室展示

5

図書館ガイダンス・スケジュール

5

貸出、視聴ランキング!

6

本学教員著作寄贈資料

7

新収資料から

7

今から三十年以上も前のアメリカでの学生時代を思い起こすと、すぐに大学図書館で悪戦苦闘した日々が思い出される。それぐらい、図書館に通い利用させられたのである。アメリカでの大学生活は図書館中心であった。その当時、大学図書館は月曜日から金曜日までは午前7時から午前2時まで、土曜日は午前7時から午後10時まで、日曜日は午後1時から午前2時まで開館していた。学生の学習・研究の中心的な場を占めていた。それには、指定図書制度(図書だけでなく、論文記事等も含む)が充実しており、関連の図書・論文記事を読まない授業についていけないし、かつ図書館を活用しないと学期論文を仕上げることができなくなるといった状況があった。ねらいは、いかに読み、いかに書き、いかに考えるか、といった知的訓練にあったと思われる。

その背景には、大学というものは、学ぶ意志と興味をもった一人一人の学生が主体的に知識を探究することを前提にして成立しているとの考えと、そのような知的自律性の確立のためには、まず、どうやって必要な図書や情報を入手したらよいか、といったきわめて実践的な技法を身につけることが大事であるという暗黙の了解があったと思われる。だから、図書館も祝祭日以外の日は常に開館して学生をはじめ教師をも全面的にサポートしたのである。それゆえ、アメリカの総合大学には、大抵、学部図書館と研究図書館の二つがあり、大学の心臓部と呼ばれ、物理的にもキャンパスの中心を占めている。大学院を終え、シカゴ大学極東図書館に勤務した時に、一番びっくりしたのは、日本と違って図書の選書はすべて専門書職である司書に任されており、教授陣も全面的に信頼していたということである。日本語資料科の主任の頃、木下順二の研究で博士論文を書いた候補者の口頭試問委員会へ委員として参加させられたのも、司書の専門性を評価されてのことである。

ひるがえって、日本の大学図書館の場合、学生や教師によって図書館はいかに利用されているのだろうか。司書の専門性はどのように問われているのだろうか。高度情報化社会とか生涯学習社会と言われる今日、かつ科学と技術の進歩の早い時代にあっては、学生が大学で学んだ知識は、やがて役に立たなくなるであろう。このような時代に、重要なことは「何かを知る」のではなく、「いかに知るか」という、基本的な研究方法の学習である。この学びを実践するには、図書館側と教授側との協働関係(パートナーシップ)が求められる。そこで、大学における知的生産が形成される。この基本から生産までの一連のプロセスが「情報リテラシ」と呼ばれる。これが身に付くには図書館が大学教育の中に組み込まれることが必要である。

メインカウンターからのお知らせ - 1

図書館利用者証 (Library Card) が変わります。

図書館を利用するには「図書館利用者証（以下、利用者証）」が必要です。

本学では、2004年4月から学生サービスセンター発行の「学生証」が「利用者証」も兼ねるようになりました。

図書館を利用できる資格を証明するものです。図書館に入館するときには、必ず携帯してください。

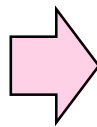
「学生証」に印刷されたバーコードで、図書館資料の貸出手続きを行ないます。

図書館内の各室・機器の利用申込・予約の際にも「利用者証」が必要です。

万一、紛失したときは、すぐに学生サービスセンターに届け出て、再発行の手続きをとり、図書館メインカウンターにもお申し出下さい。



「図書館利用者証 (Library Card)」



「学生証」

「利用者証」の番号(利用者ID)について 他)

学部生・大学院生の方

2004年度以降に入学された四大・短期大学部生、大学院生の方

・利用者IDは、学籍番号と同じです。

2003年度以前に入学された四大・短大生、大学院生の方

・利用者IDが変更になります。学籍番号の前に0(ゼロ)を1桁付けたものとなります。

例) 学籍番号「200101123」の方の利用者IDは、「0200101123」となります。

* 入学時に発行した「利用者証」は有効期限内であっても使用できません。図書館メインカウンターにご返却ください。2004年4月以降は、「学生証」を「利用者証」として使用してください。

* Bai-Lines(OPAC)の画面から、「本人利用状況」を確認する際にも、新しい利用者IDを入力してください。パスワードはご利用されているものそのままです。

科目等履修生・聴講生・研究生の方

・利用者IDは、学籍番号と同じです。

* 図書館への「利用者証」交付願の提出は不要です。

非常勤講師・卒業生・旧教職員・豊中学舎に勤務の教職員の方

図書館で従来どおり「利用者証」を発行いたします。図書館メインカウンターにて、非常勤講師・豊中学舎に勤務の教職員の方は、「利用者証」発行申込書を、卒業生・旧教職員の方は「利用者証」交付願を提出してください。利用者IDは、「利用者証」に印刷されたものです。

茨木学舎に勤務の教職員・臨時職員の方

別途ご案内いたします。

不明な点はメインカウンター、またはレファレンスカウンターでお尋ねください。

(閲覧係)

メインカウンターからのお知らせ - 2

「キャンパス・コミュニティ・システム (CCS: Campus Community System)」について

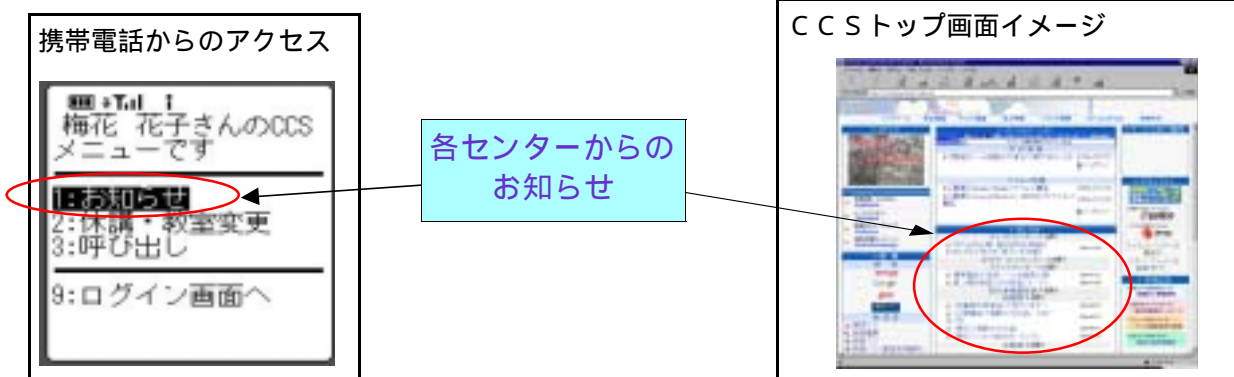
キャンパス・コミュニティ・システム（以下CCS）はインターネットを利用した情報共有と教育支援を目的とした学内サービスです。

CCSは学内のパソコンはもちろん、自宅のパソコンや携帯電話からも利用することが可能です。また、本年度より図書館や学生会館2階をはじめ、一部の教室では無線ネットワークの環境が整備されましたので、お持ちのノートパソコンを持ってきてもアクセスすることができます。

学生生活に役立つ情報が満載ですのでみなさん利用しましょう。

現在、提供を予定しているサービスには以下のようなものがあります。

- | | | | |
|---------|------------|---------------|------|
| ・休講案内 | ・教室変更案内 | ・各センターからのお知らせ | ・掲示板 |
| ・Webメール | ・eLearning | ・就職情報検索 | などなど |



図書館では、このCCSでも利用者の皆さんにタイムリーな情報を提供していきます。

CCSのトップ画面に、講習会、展示、講演会、休暇中の特別貸出・開館日について、OPACの停止、などの「お知らせ」を載せます。

また、「予約資料が返却されました」「購入希望資料の利用が可能になりました」「返却期限が過ぎています（延滞）」などのお知らせをメールでお知らせします。メールは、ご希望のアドレスにお送りいたします。メディアセンターで発行を受けたアドレス以外に送信を希望される方は、図書館メインカウンターにお申し出下さい。なお、図書館のパスワードの取得申請時に既にメールアドレスを登録されている方は、お申し出不要です。

図書館のパスワードの取得、メールアドレスの登録につきましては、BLT第7号(3ページ)「メインカウンターからのお知らせ」をご覧ください。

(閲覧係)

* CCSのアクセス方法

詳細は<http://ccs.baika.ac.jp>に掲載しますので学内のパソコンからアクセスし、ご覧ください。

学内からのアクセス : <http://ccs.baika.ac.jp>

学外からのアクセス : <http://www.baika.ac.jp> 学内向けボタン

2004年度前期 図書館展示と講演会のお知らせ

図書館3階展示コーナー

展示コーナーは
6階から3階に
移設しました。

「しかけ絵本のいろいろ」

展示期間：4月2日（金）～4月28日（水）

「しかけ絵本」ページを開くと絵が飛び出してくるもの、つまみを引くと、絵の一部が入替わるもの、回転して絵が変わるもの、さらに音が出るものなど……今回は、立体的な美術作品のようなものも展示しています。

今回展示しているものは、展示期間中はケースの中に入っていますが、普段は皆さんからの閲覧希望があれば、手にとって触れることができるものばかりです。お目当ての資料をチェックして、

「しかけ本」の世界を体験してみてください！

（館外貸出はできません）



「唱歌の文化誌」

展示期間：5月17日（月）～7月3日（土）

音楽教可書として出発した『唱歌』は、そのしみじみとした曲調で長い間、人々の心を捉えてきましたが、その歌詞もまた意味深いものがあります。平家物語に基づく「青葉の笛」、太平記に依る「青葉茂れる桜井の」、中国古史書に拠る「螢の光」など、歴史・故実・和歌・日常生活に関わる歌詞は、まさに日本の文化の宝箱です。

梅花女子大学図書館公開講座

「唱歌の文化誌」

講 師：文化表現学部日本文化創造学科 木村正明 助教授

日 時：6月7日（月）13：00～14：30

受講料：1,000円 梅花学園生涯学習センター会員は無料

場 所：梅花女子大学 F棟

展示に関するお問い合わせ：梅花女子大学図書館メインカウンターまで
公開講座に関するお問い合わせ・お申し込み：梅花学園生涯学習センターまで

学園資料室展示

梅花学園の歴史

梅花の歴史は、1878（明治11）年1月に浪花公会の牧師であった澤山保羅が中心となって、浪花公会と梅本町公会のキリスト教信者の有志が、大阪における最初の女学校として当時の大阪市西区土佐堀裏町に開設し、同月7日生徒15人をもって開校式を行ない、同月18日に大阪府知事から認可されたことに始まります。

今回は、卒業生のアルバムの中から選んだ写真を展示しています。ゆっくりと歴史の流れをご覧ください。



1925年梅花女子専門学校英文科授業風景

展示期間：2004年4月5日～2004年9月30日

展示時間：9：00～16：00（月～金）

展示場所：澤山記念館資料展示ホール

図書館ガイダンス・スケジュール

本学図書館には、約31万冊の図書、2800タイトルの雑誌・紀要、200タイトルの電子資料等があります。また、マルチメディア閲覧コーナーには、CD-ROM・DVD等の電子資料の閲覧やインターネットによる情報探索ができる端末（パソコン）が15台あります。これら図書館の資料・施設を快適に利用できるように、下記の「図書館ガイダンス」を開催します。この機会に効率よく資料・情報を利用できるようになって下さい。

* 日程は未定です。詳細は、ポスター、チラシ、図書館ホームページ、CCS等でご確認ください。

* 申し込みは、すべてメインカウンターにて受け付けいたします。

図書館ツアー

館員が、皆さんと一緒に図書館内を一巡しながら、館内の施設の案内、利用方法について説明します。

Bai-Lines（OPAC）蔵書検索システムの使い方説明会

本学が所蔵する資料を探すためには、蔵書目録を検索する必要があります。本学の蔵書検索システムには「Bai-Lines（バイラインズ）」というニックネームが付いています。コンピューターをつかって、タイトルや著者名、調べたいテーマ等から検索することができます。

当説明会では、端末機の操作方法・検索の仕方等OPACの使い方の基本をマスターできます。求める資料を効率よく探せるようになるために、是非参加して下さい。「検索の手引き」も配布します。

文献・情報の探し方 入門編

卒業論文やレポート作成には、先ずそのテーマに関する文献を集めることから始まります。当説明会では、Bai-Lis（図書館利用案内システム）を使って、資料の配架場所の案内、NDC（日本十進分類法）等の説明をし、冊子体の書誌・目録類（二次資料）を使って、図書・雑誌論文・新聞記事等の文献・情報を探す方法を説明します。また、本学図書館にない資料の入手方法についても説明します。


文献・情報の探し方 電子資料編

「入門編」で紹介した電子資料の二次資料を中心に具体的な使い方の説明をします。

インターネットの使い方・検索の仕方についても説明します。

（レファレンス係）

貸出、視聴ランキング！（対象期間：2003年4月～2004年1月末）

 図書（貸出ベスト20）（指定図書は除く）

順位	書名 / 著者名	貸出回数
1	幻の民 / 横山充男著	19
1	黄昏のハンター (ダレン・シャン:7) / Darren Shan作；橋本恵訳	19
3	日本昔話百選 / 稲田浩二/稲田和子 編著	18
4	わかりやすい硬式テニスのルール 改訂版 / 水野忠和, 太田晃, 高瀬和敏著	17
4	奇怪なサーカス (ダレン・シャン:[1]) / Darren Shan作；橋本恵訳	17
4	マチルダはちいさな大天才 / ロアルド・ダール作/宮下嶺夫訳/クエンティン・ブレイク絵	17
7	子どもの虐待：その実態と援助 / 津崎哲郎著	16
7	バンパイアの試練 (ダレン・シャン:5) / Darren Shan作；橋本恵訳	16
9	シンデレラの子どもたち：現代おとぎ話におけるヒロイン像の変遷 / 廉岡糸子著	15
9	源氏物語 2 (新編日本古典文学全集:20-25) / [紫式部著]/阿部秋生 [ほか] 校注・訳	15
9	バドミントン：カラーイラスト / 関一誠著	15
9	バンパイアの運命 (ダレン・シャン:6) / Darren Shan作；橋本恵訳	15
13	実例英文法 第4版 / A.J.トムソン, A.V.マーティネット著/江川泰一郎訳注	14
13	美女と野獣：テキストとイメージの変遷 / ベッツィ・ハーン著/田中京子訳	14
13	アブダラと空飛ぶ絨毯(BFT. 空中の城:2) / ダイアナ・ウィン・ジョーンズ作/西村醇子訳	14
13	魔法使いハウルと火の悪魔 (BFT. 空中の城:1) / ダイアナ・ウィン・ジョーンズ作/西村醇子訳	14
13	楽しいをつくる：やさしいレクリエーション実践 [本編] / 日本レクリエーション協会編	14
13	バンパイア・マウンテン (ダレン・シャン:4) / Darren Shan作；橋本恵訳	14
13	ハリー・ポッターと炎のゴブレット 上 / J. K. ローリング作/松岡佑子訳	14
13	ブレイブ・ストーリー 上 / 宮部みゆき著	14

 CD（貸出ベスト10）

順位	タイトル / アーティスト名	貸出回数
1	Life is ... / Ken Hirai	42
2	Deep river / Utada Hikaru	41
3	It's a wonderful world / Mr. Children	38
3	Let go / Avril Lavigne	38
5	ハイヌミカゼ / 元ちとせ	37
5	The ballads / B'z	37
7	I am ... / 浜崎あゆみ	34
7	Second to none / Chemistry	34
9	Mr. Children 1996-2000 / Mr. Children	32
9	This armor / Chihiro Onitsuka	32

 DVD（視聴ベスト10）

順位	タイトル	視聴人数
1	I am Sam	105
2	Cinderella II : dreams come true	91
3	モンスターズ・インク	89
3	バイオハザード	89
5	模倣犯	87
6	リロアンドスティッチ	77
7	黄泉がえり	68
8	バトル・ロワイアル	66
8	スパイダーマン	66
8	アイス・エイジ	66

本学教員著作寄贈資料(2003年度受入分)

順不同

氏名	書名	出版社	請求記号
女子大学			
米川明彦教授	俗語の研究 - ゼミ学生報告書 -	米川明彦	814.9#Y83
	輝く主のしもべ講座	米川明彦	190.7#Y83
	日本俗語大辞典	東京堂出版	813.9#Y83
村田辰夫名誉教授	三月兔の調べ - 詩篇1909 - 1917 -	国文社	931#E46
竹之内明子名誉教授	65年前の洋行 - 銀行マンが見た1937年の世界 -	文芸社	290.9#KA52
大槻博名誉教授	英語とその社会的背景	旺史社	830.2#O89
	英語の構造と背景	燃焼社	830#O89
	英国中世後期の社会 - 言語・文学・教育・科学 -	燃焼社	233.04#O89
廉岡糸子教授	大胆不敵な女・子ども - 『小公女』『秘密の花園』への道 -	燃焼社	909.028#B-4#KA14
加藤康子助教授	幕末・明治豆本集成	国書刊行会	909.81#KA86
横山充男助教授	夏のとっぺん	佼成出版社	児童書913#Y79
	赤光 (水の精霊 第2部)	ポプラ社	児童書913#Y79#(2)
短期大学			
大田正紀教授	キリスト教倫理と恩寵(近代日本文芸試論2)	おうふう	910.26#O81#(2)
此枝洋子教授	英語教師のための「わかる、できる」 授業からの出発	燃焼社	830.7#KO77
福本紘教授	日本の海浜地形	海青社	CDROM#J139
石川富士夫教授	宇宙・地球・人間・キリスト教	大阪キリスト教書店	190.4#76

新収資料から

『ニッポン人の暮らしの統計2003：官庁統計編』

編集・発行：生活情報センター 2003年2月刊
(3階 辞書・事典：請求記号:365.5#N77)



ニッポン人は平日、土曜、日曜それぞれ平均何時間睡眠をとっているのでしょうか？ ディスカウントショップで一番よく購入する食品は？ 1日どのくらいの時間働いているの？ 家族のうち誰が一番介護に時間をかけている？ 来日している外国の方はその国籍の人が一番多い？ 等々。「官庁統計」というと、非常に硬いイメージがあるかもしれませんが、しかし本書では、暮らしに関することをテーマに、非常に身近な事柄が数値に置きかえられているため、逆にそれら数値をたどることで、現代のニッポン人の生活が見えてきます。本書は、9章からなります。第1章から順に人口に関するデータ、2.人口動態に関するデータ、3.家計収支に関するデータ、4.物価・消費に関するデータ、5.社会生活に関するデータ、6.学校教育に関するデータ、7.就業・雇用に関するデータ、8.賃金・労働に関するデータ、9.福祉・医療・介護に関するデータとあります。テーマ別に見やすく図表が配置されていて、関連するデータが隣り合って見られるようになっています。レポート作成のデータとしては勿論、他にも活用の幅の広い便利な1冊になっています。ちょっと気になるニュースについて調べてみませんか。



B.L.T

Baika Library Times

(年2回刊 4月,10月)

.....

B L T 第 8 号をお届けします。

巻頭に、図書館情報センター長の漢那先生から「図書館の思い出」と題して興味深いお話をいただきました。ありがとうございました。

New York Timesのタイム・ラグが小さくなりました。New York Timesは、今まで船便を利用していたため1ヶ月以上遅延していましたが、今年から航空便を利用することになり、2,3日遅れで届くようになりました。どうぞご利用ください。

昨年11月末にDVD視聴可能ブースを5箇所から7箇所に増設しました。ぜひご利用ください。新着DVDもますます充実したいと考えています。

3月に館内書架とコーナーの配置の一部を変更しました。不明な点等ありましたら、レファレンスカウンターにお問合せください。

梅花女子大学図書館

〒567-8578
大阪府茨木市宿久庄2-19-5

図書館

電話 072-643-8498

Fax 072-643-1952

Email blibrary@baika.ac.jp

学園資料室

電話 072-643-8447

Fax 072-643-1952

Email shiry@baika.ac.jp



図書館ホームページ

URL <http://www.baika.ac.jp/lib>